

平成25年度第2回北杜市図書館協議会会議録

- (1) 会議名：平成25年度第2回北杜市図書館協議会
- (2) 開催日時：平成25年8月23日（金）午後1時30分～午後3時40分
- (3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
- (4) 出席者： 協議委員 柴山 裕子／小澤 一／下條 順子／竹田 和美
須田 由美子／平出 香織／坂本 妙子／齊木 久壽
河野 明美（須玉中学校図書館司書）
事務局 教育次長・小林 弘（図書館長） 篠原 美恵・長谷川 誠
小野 まどか（総務担当）／浅川 さつき（明野図書館）
鈴木 真由美（すたま森の図書館）／長屋 恵（たかね図書館）
細田 恵子（ながさか図書館）／高野 裕子（金田一春彦記念
図書館）／進藤 由美子（小淵沢図書館）／齊木 紀恵子（ラ
イブラリーはくしゅう）／小池 法子（むかわ図書館）

- (5) 議題： (1) 平成24年度北杜市図書館事業報告書について
(2) 北杜市図書館開館時間等について
(3) ブックスタート事業アンケートについて
(4) 「やまね便り」について
(5) 各図書館からの近況報告について
(6) その他

(6) 公開・非公開の別：公開

(7) 該当なし

(8) 傍聴人の数：0人

(9) 審議内容

1) 平成24年度北杜市図書館事業報告書について

※事務局より前回の質問についての回答

※人件費について、正規職員の人件費は除く（平成24年度予算は3名、平成25年度は4名の予算となっていて、比較できないため）

※事務局より資料についての説明

※2pの図書館管理運営事業費の主な支出で、「金田一図書館増築費」は削除

次 長：事業報告書に「北杜市子ども読書活動推進計画策定委員会」が記載されていない。

事務局：4pの図書館協議会の後に追記する。修正版を協議会委員に送付する。

委員：平成25年度図書館予算について、アルバイトの保険料はどうなっているのか。

次長：社会保険料の2分の1を市が負担している。

委員：消耗品費で「8図書館のイベント等の物品代」が大幅減となっているが、どうして大幅減になっているのか。

事務局：8図書館のイベント等の消耗品費が削減されたのではなく、全体消耗品(装備費等)を削減した結果である。内容に「等」を追記する。

委員：雑誌・新聞購入費の削減について聞きたい。

事務局：図書購入費は、最終的な削減項目と思っているので、その前に削減できるものとして、雑誌・新聞購入費を削減した。

委員：金田一図書館には清掃員賃金があるが、他の図書館はないのか。

事務局：金田一図書館は館外の清掃もあるので、清掃員の賃金を予算計上している。他の図書館は、併設施設等で委託している。

委員：今後削減していけるのか。

次長：併設施設も多いので、効率化を図りつつ検討していく。

委員：報償費が約12万円削減されているが、どのような研修を考えているのか。

事務局：主なものは、昨年度と変わっていない。

委員：ボランティアは有償か。

事務局：お茶代程度の報償を支払っている。

委員：ボランティア研修はどれくらい開催するのか。

事務局：本年度2回開催予定。

委員：平成25年度の図書館企画事業費の報償費が平成24年度より大幅増となっているがどうか。

事務局：平成24年度と平成25年度の項目が変更になったこと、むかわ図書館の開館イベントの特別予算のため、平成25年度予算が大幅増になっている。

委員：登録者数を増やすように、利用拡大のPRをしてはどうか。

事務局：情報誌等を使ってPRしていく。

委員：寄贈図書の多い館と少ない館があるがどうか。

事務局：定着して寄贈してくださる利用者がある館は寄贈図書の受入冊数が多くなる。どこの図書館で受け入れても市の蔵書となる。

委員：むかわ図書館のコピーの数値がないがどうか。

むかわ：平成24年度までは複写サービスは未実施。平成25年度から実施。

委員：『はだしのゲン』について、北杜市図書館としての意向はどうか。

事務局：今までどおり公開していく。

事務局：光熱水費の支払いについて、金田一・たかね図書館以外は併設施設にて支払い。

2) 北杜市図書館開館時間等について

*事務局より資料についての説明

事務局：市民の要望として、明野・むかわ図書館は午後6時まで開館してほしいという意見が多い。現在開館時間が午後6時までの図書館については、特に意見なし。

委員：ながさか図書館は午前9時開館、午後7時閉館だが、開館準備等、忙しいのではないか。他の図書館と同様、午前9時30分開館にしたらどうか。

ながさか：夕方の利用の方が多い。ながさか図書館は、子どもの居場所の一環を担っている。また、学生の電車待ちとしての利用も多いので、午後7時までの開館となっている。

事務局：以前、開館時間等の変更を検討した際に、ながさか図書館も午前9時30分開館とする案も出たが、コミュニティとの関係から、午前9時開館とした経緯がある。

次長：ながさか図書館は駅前、他の図書館は併設施設が多い等、図書館の利用状況に違いがあるので、ニーズにあった開館時間にすることが必要。これに関しては時間をかけて検討して欲しい。

委員：明野図書館の開館時間が午前9時から午前9時30分に変更となった際は抵抗があったが、次第に慣れた。明野図書館の場合は、児童館が途中から併設されたので、総合会館の閉館時間に合わせて、児童館も午後5時に閉館。

次長：8図書館を存続させるためには、ある程度の変更等が必要。

委員：むかわ図書館が午後6時まで開館していても、児童館の児童の図書館利用が増えるか疑問である。

次長：貸出しできなくても、子どもの居場所として利用されてもいいのではないかと。現に、須玉ふれあい館はそのような利用を行っている。

10代の利用をもっと増やすべきで、このように子どもの居場所として利用することで、図書館に足を向けるきっかけになればいいのではないかと。

委員：小淵沢図書館は、わくわく教室があるので、午後6時までの開館は必要。時代や地域に合った開館時間で運営していけばよい。

委員：「北杜市立図書館の今後のあり方」に、電子書籍について触れているが、様々な人の意見を聞いて導入の決定をしてほしい。

3) ブックスタート事業アンケートについて

*事務局より説明

アンケート内容については別紙参照。

委員：3歳児へのアンケートについて、Q1.「読みましたか」はおかしい。
事務局：「読んであげましたか」に修正。
委員：Q3.の「少し増えた」と「あまり増えない」の意味が不明。
事務局：「あまり増えない」を削除。
委員：Q5.の回答には、もっと具体例を記載した方が答えやすい。
事務局：設問の「弟妹等でも」を「兄弟姉妹等」に変更し、回答の選択に、「兄弟姉妹で読んだ」「親戚の子供にあげた」「近隣の子供にあげた」「友人の子供にあげた」を追加。
委員：サードブックアンケートについて、Q1.「家でよみましたか」という表現はおかしい。
事務局：「家で」を削除。
委員：Q2.の「サードブックやもらった本」という文章で、「もらった本」がいつ、もらった本なのかわからない。
事務局：「サードブックでもらった」に修正。

4)「やまね便り」について

*事務局より説明

平成24年度まで区長回覧で提供していたが、平成25年度から全戸配布に変更。年4回発行。
47号はボランティアの紹介やことばの学校を掲載予定。
表紙のイラストは、募集して掲載。

委員：登録者を増加させるために、やまね便りでPRしてはどうか。ブックスタートの際にPRしてもよいのでは。

委員：ブックスタートの際にはPRしている。

委員：年間の貸出冊数のランキングを掲載しても面白い。子どもの励みになるのではないか。

事務局：HPでは貸出履歴を残すことができる（インターネット登録済みの高校生以上に限る）

委員：字が小さくて見づらいところもある。フォントの大きさの検討はしないのか。

事務局：2p、3pは大きくしたが、4pは小さいので検討していく。

委員：サードブックの感想が掲載されているのがよい。

5)各図書館からの近況報告について

*各館より事業報告・事業計画等を別紙にて報告。

<補足>

●明野図書館

- ・「ペーパークラフト展&ワークショップ」は南部教育センターとの初共催事業。
ワークショップで作成した作品を展示したことで図書館利用にも繋がった。
- ・8月21日「夏の人形劇」を開催し、参加者は118名だった。

●すたま森の図書館

- ・須玉保育園でのおはなし会は、未満児・年中年長・子育て支援 という発達段階に合わせたおはなし会を実施している。
- ・8月8日の須玉保育園おはなし会は、園児170名、子育て4～5組の参加。

●たかね図書館

- ・10月25日に「絵本セラピー」を開催予定。

●ながさか図書館

- ・8月16日の「子ども工作教室」は子ども19名の参加。

●金田一春彦記念図書館

- ・11月10日に「方言講座」（講師：五緒川津平太氏）を開催予定。
- ・ことばの学校は申込み定員オーバーのため、締め切った。
- ・ことばの資料館を有効に活用したいと思っている。

●小淵沢図書館

- ・「夏休みは図書館へ行こう」では、ブックスタンプラリーで18名が達成。

●ライブラリーはくしゅう

- ・手作り絵本教室の参加者は23名。
- ・応援コーナーにて、自由研究・読書感想文関連本等の展示。

●むかわ図書館

- ・平成25年度から、武川図書館活性化会議のイベントは図書館と共催で実施。
- ・せせらぎの第2会議室を学習室として利用させてもらっており、連日利用あり。

委員：各館、教育センターとの共催事業が増えているようだが、カウンセラーを交えながらイベントを考えていくと、よい企画ができる。

委員：ことばの資料館の活用はどのようなことを考えているのか。

金田一春彦記念図書館：資料館で講座を開催したり、資料館で資料展示を行う等を考えている。

次長：金田一真澄先生が今年度で大学教授を退官されるので、ことばの資料館で話をしてもらおう等、資料館を活用していく。

6) その他

すたま：施設管理はふれあい館だが、空調管理業者が毎年替わっており、空調の状況を最初から説明しなくてはならず、修理までに時間を要した。市の方針もあるだろうが、1年ごとに替わらないようにしてほしい。

次 長：小淵沢生涯学習センターは大規模改造があるので、設計業者が決定次第、利用者等の意見を聞きながら様々な事項を決定していく。

委 員：「サイレント図書館」のように、「静かに本を読むなら〇〇図書館へ」という特色作りも必要。利用者側が図書館の状況をみて図書館の利用を選択してもらってもよい。

事務局：運営会議で検討し、特色をPRしていく。

委 員：利用者懇談会について、あり方や何を求めて開催しているのか、協議会で話し合ってもらいたい。